



すくすく



附属小学校
生活部だより第11号
令和5年3月14日

1年間、ご理解・ご協力、ありがとうございました

春の陽気を感じるようになりました。つい先日まで北風に肩をすぼめていた子どもたちも、春風を感じるとともに昨年の4月よりもたくましくなった姿に、私たち教職員もこの一年の子どもたちの成長を感じずにはられません。まさに、生活部便りのタイトルの通り、子どもたちはすくすくと成長しました。

そして、6年生はいよいよ卒業の時期を迎えました。附属小学校を去っていくのは、とても寂しいです。しかし、6年間の成長を振り返るとともに、支えてくれた家族や友達、関わった様々な方々への感謝の気持ちを持ち、「療」のごとく心に強い気持ちをもって、堂々と次のステップに向けて進んでほしいです。

さて、今年度も、昨年度同様にコロナウイルス感染防止対策に配慮しながら過ごした年でした。行事や活動も制限される中ではありましたが、昨年度経験したことを基に、さらに検討を重ね、子どもたちにとって有意義な教育活動が実践されるよう進めてまいりました。このような状況の中でも、変わらない子どもたちの笑顔や保護者の皆様のご理解・ご協力が、大きな励みとなりました。たくさんのご協力、本当にありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。来年度は、感染防止対策が大きく転換されます。子どもたちが充実した学校生活を過ごすという大前提の目標のもと、教職員が一丸となってより一層の教育活動の充実を図ってまいります。来年度もどうぞよろしく願いいたします。

今年度も多くの方々に「すくすく」をお読みいただき、ありがとうございました。

(生活部長 玉井 淳博)

5年部の取組

3学期に入り、いよいよ最高学年への扉が近付いてきました。3学期はおよそ50日。この期間を「6年生に向けての準備期間」ということを意識しながら過ごしてきた5年生。しかしながら、今年度も運動会やファミリー活動など様々な行事が縮小、中止になり、学校のために生き生きと活動する6年生の姿を目の当たりにする機会が、少ないままでした。

しかし、こうした状況だからこそ、6年生の卒業をしっかりお祝いし、在校生として温かく送り出そうという思いが膨らみ、「未来を創る」プロジェクトをみんなで立ち上げました。

「ファミリー遠足プロジェクト」「6年生を送る会プロジェクト」「卒業式プロジェクト」「修学旅行プロジェクト」に分かれ、それぞれの準備を進めてきました。何のためにするのか？どんなことをすればよいか？何を準備するか？など、0からみんなで考えました。なかなかいいアイデアが浮かばなかったり、思ったようにスムーズに進まなかったりすることもありました。でも、そんなときこそ互いにじっくり話し合い、解決することができるのが5年生のすてきなところでした。くすのき学習の時間だけでなく、休み時間なども充てて一生懸命頑張りました。6年生を送る会は、司会進行、飾り付け、垂れ幕や6年生の顔写真で作った「療」の文字を披露するなど、送る会を全力でサポートすることに加え、5年生全員で歌や言葉を届けました。対面が可能となったので、6年生へ私たち5年生の気持ちがしっかりと届いていたと自負しています。他者のために全力で頑張るといふ貴重な経験をすることができました。

これらのプロジェクトを通して、「絆」が深まり、一つ成長した5年生。来年度は最高学年として学校を引っ張っていこうと、意欲が高まっています。

(5年部 岩城 聡恵)



ファミリー遠足に 行ってきました！

ついこの間までの寒さはどこへやら。雲一つない青空の下、ぽかぽか陽気に包まれて、今年度のファミリー遠足は始まりました。月組団は北立花公園、花組団は中村公園、星組団は樽味上公園へ向けて、いざ出発です。

さて、公園へ到着しファミリー対抗種目の説明が始まると、早く跳びたい駆けたい遊びたい子どもたちはドキドキ、そわそわ。5年生の計画・進行のもと、なわとびリレーや8の字跳びなどのファミリー対抗種目で、一気に盛り上がりました。そして、お待ちかねのお弁当&おやつタイム！プチファミで円になってうれしそうにお弁当を食べる子、お弁当より先にお菓子を頬張り出す子、みんなに遊びに誘われてもひたすらお菓子に夢中な子……。おしゃべりしながら楽しく食事をすることはできませんでしたが、子どもたちは教室ではできない様々な活動を通して、ファミリーの仲間とのかかわりを深めることができました。公園を散歩中の方が、元気いっぱいの附属っ子たちを見て、「とっても楽しそうですね」とにこにこ笑顔でおっしゃったのが印象的でした。

さて、最後は来たときよりも美しく、風で飛んだお菓子の袋や包みをしっかり拾って帰ります。無事に学校へ到着、お世話になった6年生や5年生に感謝の気持ちを込めて「ありがとう」を伝えました。

コロナ禍により、思うように掃除や遊びをすることができなかったファミリー活動ですが、活動の締めくくりとなる素敵な一日にすることができました。ファミリーを支えてきた6年生、ありがとう。そして、これから引っ張っていく5年生、よろしくね！（生活部・河野 幹大）

